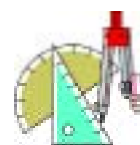


第3学年「算数科」シラバス

3年生ではこんな学習をします



年間の学習計画

加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにします。

図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにします。

資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにします。

学習の方法

- ・課題に対して、既習事項をもとにして解決できるよう、1人ひとりが見通しを持つ時間を設けるようにします。
- ・具体的な操作活動を通して、課題解決に当たるように工夫します。
- ・習得した知識や技能の習熟を図るよう、継続的に練習の機会を設けるようにします。
- ・1人ひとりの考えを出し合っ、全体の考えが深まっていくようなコミュニケーションの場を設けるようにします。

学習の評価

算数の学習に関心を持ち、進んで取り組もうとする。(授業への参加態度、発表など) 数学的な考え方を身に付け、見通しを持ち、筋道を立てて考える。(行動観察、発表、ノートなど)

整数の計算、長さの測定などができる。(ドリル学習、プリント、行動観察など)

計算の意味、式の使い方、表やグラフなどを理解する。(発表、テストなど)

	学習する単元	学習の内容
前期 70時間	1 たし算とひき算	3位数の計算のしかたを考えたり、計算が確実にできるようにしたりします。
	2 かけ算	乗法九九の習熟と乗法が用いられる場面の広がりをめざします。
	3 かけ算のひっ算	筆算の形式を知り、正しく計算できるようにします。
	4 時間と時こく	時刻や時間の概念について理解し、簡単な場合の時刻や時間を求めることができるようにします。
	5 表とグラフ	身の回りから集めた資料を整理し、分かりやすく表や棒グラフに表したり、読んだりします。
	6 長さ	長さについて理解し、簡単な場合の測定ができるようにします。
	7 かさ	水のかさの多少を比べる活動を通して、測定の意味とその単位についての理解を深めます。
後期 80時間	8 わり算	除法と乗法の間係を理解し、余りが生じない場合において、乗法九九1回適用の除法の計算ができるようにします。
	9 形	具体的な操作活動を通して、正方形・長方形・直角三角形などの構成要素をとらえ、それらをかいたり作ったりします。
	10 大きな数	千万の位までの整数について、その表し方や構成を理解し、数の概念についての理解を深めます。
	11 あまりのあるわり算	乗法九九を1回適用してできる除法で、余りのある場合の計算ができるようにします。
	12 2けたのかけ算	筆算形式による2, 3位数に1, 2位数をかける計算のしかたについて理解し、それを用いることができるようにします。
13 重さ	重さの比較などを通して、重さの概念や測定、単位について理解します。	
14 箱の形	箱の形をしたものを観察したり作ったりして、図形を構成する要素について知るようになります。	
15 3年のまとめ	3年で学習した「数と計算」「式」「はかり方」「形」「表、グラフ」について、まとめと復習をします。	

